資料－5

第４８回　荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

２０１８年１０月１６日

ＩＳＥ２０１８開催について

1．ＩＳＥ２０１８の開催概要

●国際シンポジウム第12回　ISE（International Symposium on Ecohydraulics）2018が下記のとおり開催されました。

※Ecohydraulics：生態水理学

- 座　長：浅枝先生
- 場　所：日本大学　駿河台キャンパス（東京都千代田区）
- 開催日：2018年8月19日～24日（6日間）

● ISE 2018は、IAHRとISRSの共同開催でした。

- IAHR
  ⇒ International Association for Hydro-Environment Engineering and Research　（水環境工学研究の国際協会）
- ISRS
  ⇒ International Society for River Science （河川国際学会）

●ISE 2018の目的

- 水生生物や環境中の水の流れ、湖沼と河川の自然再生の科学的知見と管理手法を結びつけること
- 急速に変化する水環境問題の解決のための技術革新を図ること
- 水に関する災害を防止するための視点や知見を共有すること

【出典】ＩＳＥ２０１８ＨＰ：http://ise2018.com/

１．ＩＳＥ２０１８の開催概要

●第４６回協議会において、「協議会としてISE２０１８に論文を投稿し、発表をする」ことが承認されました。

●協議会として参加したのは、スペシャルセッション１６の「関東地方エコロジカルネットワークの発展」です。

＜スペシャルセッション１６＞

●タイトル
関東地方エコロジカルネットワークの発展

●オーガナイザー（まとめ役）
長谷川　雅美（東邦大学教授）

●キーワード
湿地の復元、ハビタット（生息場所）の回復、経済発展および経済活性化

●トピックス

1. 河川管理者の取り組み：河川敷における湿地の創出と再生

2. 地方自治体の取り組み：環境に配慮した農法の普及

3. NPO、NGOの取り組み：野生生物の生息地の保全と管理

4. 民間企業の取り組み：食育と環境教育

5. 体験型イベントおよび都市部・非都市部間の経済的な流れの促進

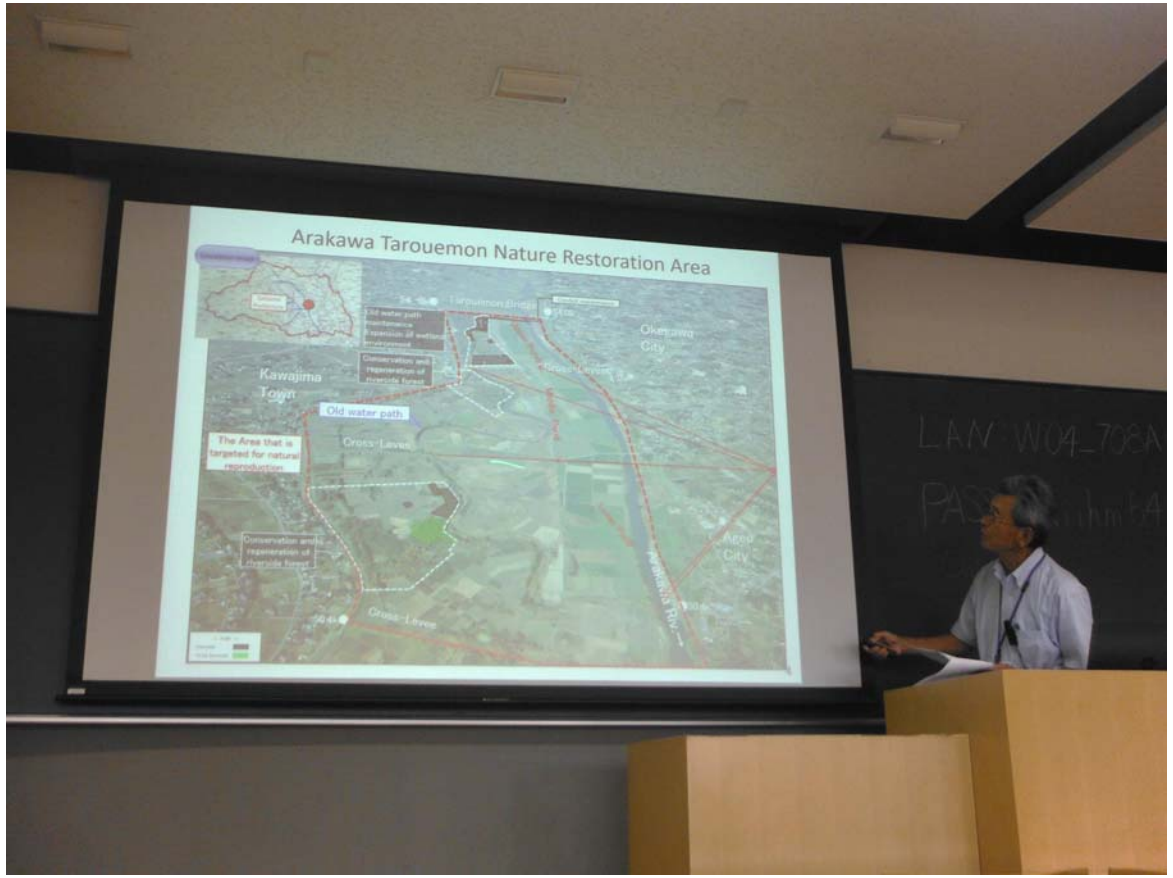
【出典】ＩＳＥ２０１８ＨＰ
：http://ise2018.com/program/pdf/session_180208.pdf

2．川島委員による協議会の活動内容の発表

●川島委員に論文執筆・口頭発表していただきました。

- 日　　時：２０１８年8月２４日　１４：１５～１５：００
- タイトル：「ACTIVITIES OF COMMITTEE ON ARAKAWA TAROUEMON NATURE RESTORATION AREA」
  （荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の活動）

＜川島委員による発表の様子＞



※写真提供：川島委員